

# たんぽぽ



西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和7年3月14日

No. 3 1

3月10日 11日 と私たちにとって忘れてはいけない2日間でした。

## 1945年3月10日東京大空襲

東京都区部に対するM69焼夷弾などを用いた大規模な無差別爆撃が行われました。一夜にして約10万人の命が奪われた東京大空襲から、10日で80年。東京の各地で追悼行事が行われました。

東京都新宿区の内田和江さん(87)は、当時は7歳で、国民学校1年生。1945年3月10日の未明、警報が鳴ると両親と一緒に火の粉が飛び交う町を逃げ惑った。父親と自身は、大やけどを負った。

焼け跡で見かけた、子供を抱いたまま息を絶えた母親の遺体が忘れられない。今も空襲の光景がどんどん膨らんで胸が苦しくなるそうです。

また、真野和雄さん(94)は、当時中学2年生だった。両親と3歳年上の姉と自宅前の防空壕に駆け込んだ。ヒューヒューと焼夷弾が空を裂く。近くで爆発音が響く。外に出ると、夜の通りが火災で昼間のように照らされていた。

朝になると、焼けた街のあちこちに焼死体が倒れていた。街角では、地下に逃げ込んで「蒸し焼き」状態でなくなっていた数十人の遺体を軍人がスコップでトラックの荷台に乗せていた。

80年前の東京大空襲はこんなふうでした。

## 3月11日 東日本大震災

全国で死者・行方不明者(関連死を含む)が2万2228人に上る東日本大震災から14年となる。地震や津波の被災地では心のケアなどが課題となる一方、東京電力福島第一原発事故により放射線量が高く、人が住むことができない帰還困難区域が福島県内の7市町村に残る。

「2520」

東日本大震災で遺体が見つからず、行方が分からない人の数です。災害関連死を除く全犠牲者の14%を占め、その数の多さでも特異な災害です。

( 3月11日 朝日新聞 )

震災の体験をきちんと継承することが今後の防災につながります。2万を超える人々が犠牲になった未曾有の大震災です。地震や事故の風化を防ぎ、防災の大切さを広めていきたいものです。

## 道徳地区公開講座 伝え方が9割

「ノー」を「イエス」に変える技術の講演を聞いて学んだことがあります。それは「言葉の重さ」です。例えば、「これやってください」と「これ君ならすごく良くできると思うからやってくれないかな」だとそれをやる相手のやる気が違います。このように言葉とはちょっと変えるだけで相手の心境が全く違ってくると感じました。次からは、相手と話すときは、言葉を大切に話したいです。

## 作品展見学会 感想

- 2階の受験の質問コーナーが勉強になったし、気になったことが見れたので良かった。
- タブレットバッグ、材料は大体同じだけど、みんなの個性がたくさん出ていていいなと思った。
- 同じものをテーマにしていたとしても、それぞれが違ういいところがあってとてもいい作品展だなと思いました。

## 校内作品展

